

令和2年10月教育委員会定例会 会議録

令和2年（2020）10月27日（火）午後2時、出雲市教育委員会定例会を庁議室に招集した。

1 会議に出席した委員

教 育 長	杉 谷 学
教育委員（教育長職務代理）	水 陽 子
教 育 委 員	錦 田 剛 志
教 育 委 員	金 築 千 晴
教 育 委 員	内 藤 祐 馬

2 説明のため会議に出席した者

教 育 部 長	三 島 武 司
教 育 部 次 長	松 浦 和 之
教 育 政 策 課 長	常 松 博 雄
学 校 教 育 課 長	金 築 健 志
児 童 生 徒 支 援 課 長	兒 玉 浩 二
教 育 施 設 課 長	園 山 裕 二
学 校 給 食 課 長	石 橋 健 治
出 雲 科 学 館 長	矢 田 浩 一
保 育 幼 稚 園 課 長	鬼 村 修 治
学 校 教 育 課 主 査	山 本 芳 正
児 童 生 徒 支 援 課 課 長 補 佐	吾 郷 尚 志

3 会議の書記

教 育 政 策 課 課 長 補 佐	常 松 晃 好
-------------------	---------

4 傍聴者

1 名

開会

（杉谷教育長）只今から、令和2年10月出雲市教育委員会定例会を開会します。本日の会議は、お手元に配付しております日程のとおり行います。

1 出雲市教育委員会感謝状の贈呈

（杉谷教育長）まず始めに、出雲市教育委員会感謝状の贈呈を行います。教育政策課 常松課長 に進行をお願いします。

（常松課長）只今から、出雲市教育委員会感謝状の贈呈を行います。本日、感謝状を贈呈する方は、船田住華 様 及び 出雲法人会 様です。贈呈の前に、ご功績につきまして、ご紹介申しあげます。

（ご功績の紹介）

先般開催されました出雲市教育委員会において、出雲市教育委員会感謝状贈呈要綱第5条の規定により感謝状贈呈が決定されましたので、本日、教育委員会感謝状を贈呈するものです。

（杉谷教育長、感謝状と記念品を贈呈）

（船田住華 様 及び 出雲法人会 様 あいさつ）

（常松課長）以上をもちまして、出雲市教育委員会感謝状の贈呈を終了します。

2 教育長行政報告

（杉谷教育長）それでは、教育長行政報告を行います。（以下、報告項目のみ掲載）

（1）前回以降の動向

R2.9.23	第1回出雲市総合教育会議
R2.9.25	市議会9月定例会閉会、全員協議会
R2.9.28	第4回出雲市教育政策審議会
R2.9.29	学校図書館を考える会からの要望
R2.9.30	島根県市町村教育委員会連合会 県教育長要望（県庁）
R2.10.1	教育委員学校訪問（～10/13）、市新規採用職員任用式
R2.10.2	出雲科学館運営理事会
R2.10.3	しまねの学力育成推進プラン策定委員会（県庁）

R2.10.7	出雲教育事務所長訪問
R2.10.7	学校医師会・教育部・子ども未来部情報交換会（出雲医師会館）
R2.10.9	出雲市男女共同参画推進本部会議
R2.10.18	出雲市隣保館まつり（欠席）
R2.10.19	いじめ問題に特化した学校訪問（～11/6）
R2.10.20	幼稚園PTAからの要望
R2.10.27	定例教育委員の会議

（２）今後の予定

R2.10.29	クリアファイル寄贈（出雲法人会より）
R2.10.30	市議会全員協議会
R2.11. 2	管内教育長会（出雲合庁）
R2.11. 6	島根県同和教育推進協議会連合会研究集会（雲南市 ラメール）
R2.11.10	ことばを育てる親の会市長要望
R2.11.11	校長の会議
R2.11.13	文部科学省人権教育研究指定事業発表大会（塩冶小）
R2.11.15	出雲市青少年育成推進大会
R2.11.16	県学力育成会議（出雲合庁）
R2.11.20	市永年勤続表彰式・定例教育委員の会議

（杉谷教育長）只今の報告で、質問等がありますか。

（錦田委員）９月２９日の「学校図書館を考える会からの要望」は、具体的にはどのような内容でしたか。

（杉谷教育長）現在、学校司書等を配置している事業について、県の事業そのものが見直しになっているということも片方ではあるんですけども、司書配置の拡充をお願いしたいというような要望でございました。

このあたりは、毎年非常に熱い思いを聞かせていただいているところでございまして、このところ、若干名ずつではありますけれども、配置校を増やしてきておりますが、申しあげましたように県事業の変更もあり、市としてどう対応をしていくかという部分もございまして、「現在検討中である」というようなことで、当日回答を差しあげているという状況でございます。

（錦田委員）わかりました。ありがとうございました。

(杉谷教育長) ほかはよろしいでしょうか。

(各教育委員) ありません。

3 会議録の承認

(杉谷教育長) 次に、会議録の承認に入ります。前回 9 月定例会の会議録について、何か意見等がありますでしょうか。

(各教育委員) ありません。

(杉谷教育長) 特に意見等ありませんので、9 月定例会の会議録については、承認します。

4 議事

(杉谷教育長) それでは、議事にはいります。議第 4 3 号「出雲市立学校における地域学校運営理事会理事の辞任及び任命について」を、教育政策課 常松課長 から説明願います。

(常松課長) 資料に基づき説明

(杉谷教育長) 只今の、議第 4 3 号について、何か質疑等はありませんか。

(各教育委員) ありません。

(杉谷教育長) 特に質疑等がないようですので、議第 4 3 号について承認してよろしいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(杉谷教育長) ご異議ありませんので、議第 4 3 号について承認します。

(杉谷教育長) 次に、議第 4 4 号「教育長の臨時代理について（出雲市立小・中学校修学旅行の中止に係る経費の補助に関する要綱）」を、学校教育課 金築課長 から説明願います。

(金築課長) 資料に基づき説明

(杉谷教育長) 只今の、議第 44 号について、何か質疑等はありませんか。

(内藤委員) 新型コロナウイルス感染症以外の要因によってこういうことが起きた場合には、要綱を改正して対応されるのですか。

(金築課長) 今回の補助金は、新型コロナウイルス感染症に起因するもののみでございます。

(杉谷教育長) ほかはいかがでしょうか。

(各教育委員) ありません。

(杉谷教育長) 特に質疑等がないようですので、議第 44 号について承認してよろしいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(杉谷教育長) ご異議ありませんので、議第 44 号について承認します。

(杉谷教育長) 次に、議第 45 号「出雲市立幼稚園条例施行規則の一部を改正する規則」を、保育幼稚園課 鬼村課長 から説明願います。

(鬼村課長) 資料に基づき説明

(杉谷教育長) 只今の、議第 45 号について、何か質疑等はありませんか。

(水委員) 説明を聞きますと、今、預かり保育事業の実施時間を延長されていない園も、今後 4 か年の間にすべての園で、朝は 7 時半から、夕方は 6 時半まで、という保育時間になるということですか。

(鬼村課長) そのとおりでございます。人員確保や予算的なところもありまして、3 年度、4 年度、5 年度は 3 園、6 年度は 2 園、計 11 園を順次長時間に移行していくという考え方を持っております。

(杉谷教育長) ほかはいかがでしょうか。

(各教育委員) ありません。

(杉谷教育長) 特に質疑等がないようですので、議第４５号について承認してよろしいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(杉谷教育長) ご異議ありませんので、議第４５号について承認します。

(杉谷教育長) 次に、議第４６号「出雲市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則」を、同じく保育幼稚園課 鬼村課長 から説明願います。

(鬼村課長) 資料に基づき説明

(杉谷教育長) 只今の、議第４６号について、何か質疑等はありませんか。

(内藤委員) 基本的には大賛成ですが、「定員を超えた場合には出雲市民を優先する」規定を追加されるということについて、これは、他の地域でもそういう規定があるものなんでしょうか。

(鬼村課長) 他市の規定については十分確認をしておりましたが、本市としてはこういった考え方でやらせていただきたいというふうに思っております。

例えば、特別な支援を要するお子さんの受入れについて、現在、本市では、今市幼稚園、中央幼稚園の２園を「拠点園」として設け、人的な加配もしながら、受入れをするという体制をとっています。そういった特別な支援を要するお子さんの受入れは、市内の方を優先させていただきたい、といった含みもありまして、「優先」の要件を設けたいと思っております。

(内藤委員) そういう内容であることが、この規定ではわかりづらいんじゃないのかなって思うところもありますけど、理解させていただきましたので、これでもよいかなとは思いますが、「特別な支援を要する場合は」と付け加えられるのもよいのではないのかなと思いました。意見です。

(杉谷教育長) 事務局はいかがですか。

(鬼村課長) 現在のところは、定員を超えている園はございませんけれども、仮にそういった事態が生じたときに、やはり市民の方を優先するっていうふうなところは、あってしかるべきかなというふうに思いますので、規定上はこういった表現でさせていただいたら、と思います。

失礼しました。中央幼稚園は、特別支援というようなところで申込みも多いということで、定員を超えていました。申し訳ありませんでした。

(杉谷教育長) ほかはいかがでしょうか。

(各教育委員) ありません。

(杉谷教育長) 特に質疑等がないようですので、議第46号について承認してよろしいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(杉谷教育長) ご異議ありませんので、議第46号について承認します。

5 報告

(杉谷教育長) 次に、報告事項に入ります。報告(1)「令和2年度 1学期 出雲市立小・中学校における問題行動等について」を、児童生徒支援課 児玉課長 に説明願います。

(児玉課長) 資料に基づき説明

(杉谷教育長) 只今の報告(1)について、何か質問等はありませんか。

(金築委員) 不登校の児童について、「家に閉じこもっていがち」とか「外に出かけて自由にしている」とか項目がありますけども、保護者さんが働いていて子どもがひとりぼっちであるケースは多いんですか。

(児玉課長) 当然、各学校においては、家庭の状況を把握しておられると思いますが、こちらの方で調査はしておりません。

ご心配の状況もあるのではないかと考えていますが、そのすべてが、いわゆるネグ

レクトということにはなっていないんじゃないかなと思っています。

（金築委員）ネグレクトとは思わないんですけども、子どもさんが放置されていて、その子たちがここで報告されている問題行動を起こしているわけではないですか。

（兒玉課長）ここで報告している「不登校の児童生徒」と「問題行動加害児童」とは全く別です。

（金築委員）わかりました。ありがとうございます。もうひとつ質問です。「火遊び等」とあるんですけど、こういった内容ですか。

（兒玉課長）ライターで落ちているものに火をつける、落ち葉に火をつけるとかですね、そういったような内容です。

（金築委員）「金銭浪費」は、親の財布からお金を抜いているのですか。

（兒玉課長）家からお金を持ち出して、おごりあいをしたりとか、女の子ですと、化粧品を買ったり、とかいうような報告が上がってきております。

（水委員）「いじめ加害以外の問題行動加害者数」の「その他」の具体的な内容を教えてください。

（兒玉課長）「その他」であがっている事例としては、いわゆる「ピンポンダッシュ」、他人の家の呼び鈴を押して逃げてしまうとかですね、いわゆる「投石」ですね、石を田んぼに投げるとか、バットで石を打って、というような報告が上がってきております。

（錦田委員）先ほどの金築委員さんの発言のところで、私少し気になりましたのが、各学校でご家庭の状況を把握していらっしゃることは当然だと思うんですけど、数値を集成してどういう実態、背景があるのかという分析は、やはり事務局の大きなお仕事のひとつじゃないかと思うんですね。だから、「詳細がわかりません」というのは、いささか失礼な言い方ですが、ちょっと無責任ではないかなと思うわけですよ。

プライバシーの管理の問題があって、なかなか踏み込めないのはわかりますけれども、各学校のそれぞれの個別事象を、守秘義務の範囲の中で、総合して事務局として集成して、分析をしたうえで、前向きな踏み込んだ施策の立案を検討されたほうがいいんじゃないかなと思います。大変ものの言い方が失礼かもしれませんが、他意は

なく申しあげています。

（**兒玉課長**）ありがとうございます。先ほどの、家に保護者の方がいらっしゃるかどうかということについては、今後、学校を通じてその実態について調べたいというふうに思います。

また、委員さんご指摘のとおり、分析結果の施策への反映につきましては、当然うちの委員会だけで対応できない部分も出てくるかと思しますので、多方面と連携しながら、前向きに考えていきたいというふうに思います。

（**錦田委員**）もう一つですね、様々な問題行動を起こす事例の中で、警察が関わってくる事柄も、多々あるんじゃないかと思えます。今、教育委員会と警察との連絡といえますか、そういった何か具体的なことは行っているのでしょうか。

（**兒玉課長**）定期的な連絡会は開催はしていませんが、学校警察連絡会という協議会がございますので、そこの中での情報交換と、それから各事案、火遊びや盗み、万引き等については、警察が関わっていただく、あるいは、指導していただく事例がかなりございますので、その部分につきましては、警察とも情報交換をさせていただいています。

（**錦田委員**）前にもお話したかもしれませんが、警察もネットトラブルなどにはかなり本腰を入れて取り組んでいらっしゃるって、私も今、出雲警察署の協議会の会長を仰せつかっていまして、この問題はかなり出ますので、たびたび教育委員会との連携について申しあげているところです。大きな事柄が起きてからでは遅いので、重大事件が発生する前に、双方が今以上に連携を密にされた方が、特に、このネットトラブルの問題等々は重点的に、今後も連絡調整された方がいいかなと思ひまして申しあげました。

（**兒玉課長**）ありがとうございます。今後、そういったところも連携を深めていく方向でいきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

（**三島部長**）実際に子どもが学校に行かなくなる、あるいは、家に閉じこもってしまう、という場合は、保護者の就労に大きく影響が出ます。家に小学校低学年のお子さんなどをひとり残して就労に行けなくなるということで、親御さんの就労に大きく影響しますが、いわゆるシングルマザーの方などは、「働けません」では話がすまないもので、先ほど、兒玉課長の方から調査をするということを申しあげましたが、そういった面でも、この問題は大きな広がりを見せる、そういった状況にあるということを申

し添えさせていただきたいと思います。

（杉谷教育長）いずれにしても、子どもたち一人一人が抱えているいろいろな背景なり課題があると思いますので、その辺り、先ほどの錦田委員さんの言葉をお借りすると、分析をして、どう対応していくかっていうところを事務局としてもしっかり考えていけないといけないかなというふうな思いでおります。貴重なご意見ありがとうございます。他にございませんでしょうか。

（内藤委員）前年から人数が減りましたよ、というお話があったと思いますが、分析っていうことでもあるのかもしれないんですけど、私は、この数が減っていることが非常にすごいなと思ってまして、数が減った要因について説明をしていただけますか。

（児玉課長）いじめについて、加害者、被害者、両方とも数が減ってきたということがございます。各学校での指導も当然ございますが、家庭や社会でも、いじめについていろんな報道等ある中、意識が高まってきているというところが一番のところだと思います。

加えて、学校においても、道徳だけではなく学校生活全体の中で、子どもたちの仲間づくりでありますとか、あるいは、授業づくりでありますとか、そういったところから人間関係を作っていく取組が、いじめの減少に繋がっているかなというふうに思っております。

更に加えて、教育委員会といたしましても、昨年度からいじめについては、対応の強化ということでいろいろな施策を打たせていただいているところでございます。特に、いじめのアンケートにつきましては、保護者に対して全員とっておきまして、早めのところでピックアップして対応していきましようというようなこともありまして、そうしたいろいろな要因が複合しながら、減少に繋がっているんじゃないかというふうには思っています。

（内藤委員）大まかな内容はわかりました。ただ、おそらく、そこを分析していくことによって数が更に減っていくと思いますし、その内容を踏まえて考えていくこともできると思いますので、先ほど言われたように、分析をもう少し詳しくされた方がいいのかなと思います。

（杉谷教育長）これについても、しっかりと、取組を評価をしていくということと、各学校の取組の中身をしっかりと見ていくということではないかなと思っています。

今、ちょうど学校訪問中で、私自身感じることは、いじめが起こった場合の対応

と、起こらないようにする対策とが、両方うまく学校全体で取り組まれているかなという印象は受けています。子どもたちがいろんな背景を抱えている中で日々見せる表情から、「この子ちょっと様子がおかしいな」っていうところで声をかける、そういう観察力は、各学校の先生方は高まっています。そうした情報を元に、どう対応していくかということを、学校全体で考えて取り組んでいらっしゃると思います。もうひとつ、やはり、学校生活が充実して楽しいものにしていく、わかる授業にしていくということ、片方で懸命に取り組んでいらっしゃるという、この両面があるのかなということは学校訪問しながら感じているところですが、感じている部分ですので、これが具体的に何なのかというところは、つかんでいく必要があるかなというふうに思います。ほかは、いかがでしょうか。

（金築委員）不登校傾向の小学校の児童の数字が 136 人と、けっこうあるんですけど、昨年伺ったときに、低学年の子が割と多くて、高学年であれば理解できるんですけど 1、2 年生の子が結構いたかなと思っています。今年も、やはりそういう傾向ですか。

（児玉課長）特にこの学年が多いということはありませんが、昨年通り低学年も人数的にある程度います。

（金築委員）低学年の子が不登校である場合、先ほどおっしゃられたとおり親さんの就労も更にまた難しくなるかなっていう気もするので、その辺の支援とかも今後考えていかれないと、就労できないという気持ちが子どもに向いてもいけませんし、そうした悪循環が生まれそうな気がするので、何かしら早めの対策が必要であると思います。

（児玉課長）ご心配されるとおり、低学年はもとより小学生、また、中学生も含めまして、心配な面もございますので、先ほど言いましたように、そこら辺については調査をさせていただきながら、他課とも相談しながらやっていきたいというふうに思います。

（杉谷教育長）ほかは、いかがでしょうか。

（各教育委員）ありません。

（杉谷教育長）次に、報告（２）「檜山小学校及び東小学校からの推薦により決定した感謝状の贈呈について」を、 教育政策課 常松課長 から説明願います。

(常松課長) 資料に基づき説明

(杉谷教育長) 只今の報告(2)について、何か質問等はありませんか。

(各教育委員) ありません。

(杉谷教育長) 次に、報告(3)「学校訪問について」を、同じく 教育政策課 常松課長 から説明願います。

(常松課長) 資料に基づき説明

(杉谷教育長) 只今の報告(3)については、教育委員さんそれぞれに感想やご意見を願います。

(金築委員) 今回、割とたくさんの学校を訪問させていただきまして、楽しく見させていただきました。どこの学校でも思ったんですけども、無記名の落し物が非常に多くて、パーカーなど意外なものも結構あって、しばらく放置されているように見受けられました。やはり、持ち物に名前を書くということや、自分の物を大事にするという気持ちが、最近少なくなっているのかなってちょっと感じました。

あわせて、学校自体整理整頓されていない、トイレのスリッパがとんでもないところにあったり、少し乱雑な印象の学校も何か所か見られて、やはりそういった学校は生徒がちょっとざわついているのかなっていう気はしました。

あと、鉛筆の持ち方がおかしい子どもがけっこういて、そういった部分は基本、基礎の部分だと思うんですけど、小さいときからそういったところをもうちょっと気をつけていたら、それが今後につながるんじゃないかなっていう気もしました。先生たちはそういうところはあまり注意されないのでしょうか。そういう子がすごく多くて、もう少し鉛筆を正しく持てば綺麗な字が書けるのになあと思ったりして見ていました。

図書館については、素敵なおともも多くて、司書さん頑張っていらっしゃるな、私も通ってみたいな、と思わせていただきました。

ただ、新しい学校、古い学校がいろいろある中、「密」の状態の教室も結構多くて、どうにもならないのかなっていう気持ちがありました。以上です。

(水委員) 最後の学校訪問だな、と思いながら回らせていただきました。私自身としては、4年間回った学校訪問の中で、今回の学校訪問で訪れた学校の雰囲気、あるい

は、児童生徒の様子が、これまでで一番落ち着いていたように感じました。設備の面では、トイレですとかいろいろ古い学校ももちろんありましたけれども、先生方や子どもたちの表情がとても良い雰囲気であることを感じた学校訪問でした。

来年から県が少人数学級制を見直す、そして配置されるスタッフの数が減る、ということを懸念しておられる学校がかなりあったように思いますが、先ほどのいじめや不登校の問題もそうですけれども、やはり教育現場には、「人の配置」をもっともっと訴えていかなければならない、国へも県へも要望していかなければならないのだなということを、4年間かけてすごく思いました。1人でも多くの人に関わって子どもたちを育てていけるような出雲市の学校教育が実現できればいいな、というのが4年間の学校訪問をまとめた感想です。

（錦田委員） 今、両委員が言われた事柄は、私も感じましたので、それ以外の事柄を申しあげますと、どの学校も挨拶がしっかりできている子どもたちが多いということに、非常に安心感を持ちました。

その一方で、何年か前にもお話したのですが、授業を聞く姿勢、もちろん身体的な様々な障がいを持つ子もいますので一概には言えませんが、しかし、やはり勉強を学ぶ時の姿勢というのは、社会人になっても、国際社会に出ても大事なものです。立ち振る舞いの美しさは、姿勢の良さから始まりますが、そこら辺の基本的な教育というのは、多様な価値観の中でもしなければならぬ日本の美德とするところだと思いますので、もう少し、きちんとされた方がいいかな、という学校がありました。

それと、これも何年か前に申しあげましたが、やはり、厳しい財政状況やかつての学校の造りの中で限界があるのはわかりますが、あまりにも職員室が狭い。教員のみなさんが一生懸命良い教育をしようとされている中、もう少し職場環境を改善する必要があると思います。以前と比べると、職員室にヘルパーさんなど学校に関わる様々な方が増えていますよね。今の職員室の状況を見たら、本当に気の毒としか言いようがないっていうのを感じました。

私は、もともと研究職でしたけども、諸外国のキュレーターのお部屋などは、それなりの研究環境があって、その職場の環境、ゆとりがいい研究や社会貢献に繋がっていくという、それはステイタスも高いでしょうし、国家なり自治体のケアが厚いんですね。やはり、諸外国のような研究職や教育職に対する環境の向上というのは、求められているんじゃないかなと思ひまして、厳しい財政状況はよくわかっておりますが、少しずつでも改善された方が、今後、本当にいい意味での働き方改革で、教員のゆとりと教育の質の向上に繋がっていくんだらうと心から思い、願っております。

それから、先ほどの問題行動にも関わってくるんですけど、問題行動が減りました、加害児童が減りました、いじめが減りました、ということはいいいんですけれども、昔は子どもたちも、出雲弁で言うと「いけず」をすることによって、ある程度発

散をしていたと思うんですね。「あれもやっちゃだめ」「これもやっちゃだめ」「あれをやりなさい」「これをやりなさい」という中で、子どもたちがどこかで萎縮しているんじゃないかなっていう漠然とした不安を今回の学校訪問でも持ちました。何でも乱暴放題、というわけにもいきませんが、子どもたちが萎縮しないで伸び伸びと、どこか発散するところもないといけないと思いますし、いわゆる「いけず」のレベルだったら大目に見てやらないといけないこともたくさんあるんじゃないかなと思ひまして、あんまりがんじがらめもいかなものかなと思います。以上でございます。

（内藤委員） 今回初めて各学校に行かせていただきました。クラスの人数の上限が変わって、狭いクラスがこれから更に増える中で、先生たちも少なくなったりして、彼らが学ぶ空間というものを考えてあげなきゃいけない、誰が彼らをしっかりと見てあげられるんだろうかと、というようなことを感じました。

今、叫ばれているのは「ICT」ですが、それは子どもたちを成長させるようなものではないと思いますし、やはり教育者の人たちがいて、子どもたちがその人たちとのコミュニケーションをとりながら社会生活を学んでいくっていう大切さも僕はあると思ひていまして、それをうまく結びつけてあげないとまずいなという中で、学校生活を見ると、「これじゃまずいんじゃないか」っていうところと、「これでいいんじゃないか」っていうところの差が激しすぎると感じまして、この市内では、平均的に子どもたちが成長していくような過程を作ってあげていただきたいなと思ひました。

それと、建築の視点で見させていただくと、やはり外部で木を使うと早めにいたむんだなということを各学校に行つて思ひました。これは今後見直していくべきところではないかと思ひます。木が黒ずんでいたり、ボロボロになった校舎を見させていただきましたので、できるだけ、改修などで面倒見てあげればいいのかと、この間もお願いをしましたけど、そういうことをしっかりとやっていただきたいなと思ひます。

（杉谷教育長） ありがとうございます。私たち事務局の者は、割と多く学校に行つているがために案外見落としてるところを教育委員さん方にご指摘いただいたと思ひていますし、逆に応援をしていただいたり励ましていただいたところもあります。

なかなか市単独でできることばかりではないんですけども、冒頭申しあげましたように、やはり県を通じて国に働きかけていくこと、あるいは、県の方の施策として考へていただきたいことについては、事あるごとに言つていかないといけないんだなということと、あと、市の方で何とかできることについては、優先順位をつけながらではあると思ひんですけど、一つ一つ解決していく必要があるなというふうに思ひました。

冒頭おっしゃつた、物を大切にすることですけど、確かに落とし物で展示し

てあるものを見ると、これの持ち主がわからないということはないだろうと思われるものまで落ちてるので、本当に不思議だなと思います。子どもたちが、自分の身につけているのかどうかももしかしたらわからないのかなという変な思いを持ったりもしました。確かに、パーカーなどは、「着てきたでしょう」というようなものなんですけど、その辺ですね、その意識はどうなのかなと思ったり、あるいは、そこに展示してあるから逆に自分のですと言い出せないのかもしれないし、その辺りはちょっと疑問に思われることも当然のことですけど、学校が子どもとの関わりっていうものを見つめ直す一つの視点かなとも思いました。

今回は、先ほどおっしゃっていただいたように、非常に短時間でたくさん見ていただいて、せわしない学校訪問だったかもしれませんが、いろいろお気づきの点があれば、今後も声を聞かせていただきたいと思います。と思っています。

6 その他

（杉谷教育長） それでは、「その他」に入ります。教育委員会の後援・共催事業について、教育政策課 常松課長 に説明をお願いします。

（常松課長） 資料に基づき説明

（杉谷教育長） 只今の報告について、質問等はありませんか。

（各教育委員） ありません。

（杉谷教育長） その他、委員の皆さま、あるいは事務局の方で、何かございますか。

（各教育委員） ありません。

7 次期教育委員会の開催時期

（杉谷教育長） 次期教育委員会の日程ですが、11月20日（金）の、午後2時から、市役所4階 共済会会議室 で開催いたします。

閉会

（杉谷教育長） 以上をもちまして、令和2年10月出雲市教育委員会定例会を閉会します。

(15:30) 定例教育委員会閉会